

Amkor Technology、Science-Based Targets イニシアチブ (SBTi) に ネットゼロ目標を提出

アリゾナ州テンピ -- 2023 年 12 月 12 日 -- 半導体パッケージングおよびテストサービスの大手プロバイダーである Amkor Technology, Inc. (Nasdaq: AMKR) は、本日、2050 年までに温室効果ガスの排出量をネットゼロにすることを宣言すると発表しました。ネットゼロの目標は、世界の気温上昇を 1.5°C に抑えることを目標とする Science Based Targets initiative (SBTi) が設定した厳格な基準に沿ったものです。

2050 年までにネットゼロという目標を達成するために、Amkor は以下の短期目標を設定しました。

- 事業運営におけるスコープ 1 および 2 の GHG 排出量の絶対量を 2033 年までに 55%削減
- スコープ 3 排出量の 67%をカバーするバリューチェーンのサプライヤーは、2028 年までに科学に基づいた目標を設定

これらのターゲットは本日、検証のために SBTi に提出されました。

「SBTiと連携してネットゼロ目標を設定することは、当社の持続可能性への取り組みにおける重要な一歩です。これは脱炭素化への当社の取り組みを強調するものであり、顧客、投資家、従業員を含む利害関係者も同調する優先事項です」と、Amkor の社長兼最高経営責任者、Giel Rutten は述べています。「この目標を達成するための主要な取り組みでは、エネルギー消費を再生可能エネルギー源に移行すること、供給業者と協力して当社のサプライチェーンにおける二酸化炭素排出量を削減することなどを実施する予定です」

Amkor は、持続可能なビジネス慣行に長年取り組んでおり、これは信頼と確実性という当社のコアバリューにしっかりと組み込まれています。2013 年に最初の排出量削減目標を設定して以来、過去 10 年間にわたり、Amkor は製造施設におけるエネルギー効率の改善と再生可能エネルギーの使用量増加のためのイニシアチブを実施し、温室効果ガス排出量を着実に削減してきました。

Amkor は、ネットゼロ目標に向けた進捗を定期的に報告し、透明性と環境管理への取り組みを強化する見込みです。Amkor は、SBTiと連携したネットゼロ目標を設定することで、脱炭素化の取り組みを推進し、より持続可能な未来に貢献することを目指しています。

Amkor の ESG 施策の詳細については amkor.com/esg/をご覧ください。

Amkor Technology, Inc.について



News Release

Amkor Technology, Inc.は、米国に本社を置く世界最大の OSAT（半導体アセンブリおよびテストアウトソーシング）サービスプロバイダーです。1968年に設立されたAmkorは、ICパッケージングとテストのアウトソーシングのパイオニアであり、現在では世界の主要な半導体企業、ファウンドリ、エレクトロニクス OEM の戦略的製造パートナーとなっています。Amkor は、スマートフォン、EV、データセンター、人工知能、ウェアラブルを始めとする通信、自動車、産業、コンピューティング、消費者業界向けにターンキー製造サービスを提供しています。Amkor は、アジア、ヨーロッパおよびアメリカといった世界の主要なエレクトロニクス機器製造地域に、製造拠点、研究開発センター、営業オフィスを構えております。詳細については、amkor.com をご覧ください。

連絡先

投資家向け広報窓口

Jennifer Jue

投資家向け広報兼財務担当、バイスプレジデント

+1-480-786-7594

jennifer.jue@amkor.com

報道関係者向け窓口

Christina Parsons

マーケティング・コミュニケーション ディレクター

+1-480-786-7653

christina.parsons@amkor.com

ソーシャルメディア：@amkortechology